

インストールマニュアル
**LG デジタル
サイネージ**
(サイネージモニター)

このたびは LG サイネージモニター製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

webOS 2.0

目次

インストールメニューを開く.....4

インストールメニュー5

- Signage Setup
(サイネージセットアップ) メニュー 5
- Power On Status (電源オンステータス)
- IR Operation (IRの操作)
- Local Key Operation (ローカルキーの操作)
- Wake On LAN
- LAN Daisy Chain (LANデージーチェーン)
- No Signal Power Off (15 Min) (信号がないと電源オフ (15分後))
- Auto Power Off (自動電源オフ)
- Beacon (ビーコン)
- DPM
- DPM Wakeup Control (DPMウェイクアップ制御)
- Baudrate (ボーレート) (9600/115200)
- OSD Portrait Mode (OSDポートレートモード) (On (オン)、Off (オフ))
- Power On Delay (パワーオン遅延) (0~250)
- Check Screen (画面の確認)
- Digital Audio Input (デジタルオーディオ入力)
- Speaker (スピーカー)
- USB Auto Playback (USB自動再生)
- Set ID (セットID)
- PM Mode (PMモード)
- Interface Selection (インタフェースの選択)
- Master/Slave Mode (マスター/スレーブモード)
- Content Rotation (コンテンツの回転)
- Aspect Ratio (Rotation) (画面サイズ(回転))
- Intelligent Auto (インテリジェントオート)
- Studio Mode (スタジオモード)
- Pivot Mode (ピボットモード)

Scan Inversion (スキャン反転)

White Balance (ホワイトバランス)

Application (アプリケーション)

Crestron (クレストロン)

Factory Reset (工場出荷状態へリセット)

Status Message (ステータスメッセージ)

SIMPLINK Setup (SIMPLINK設定)

Multi-screen Resolution

(マルチスクリーンの解像度)

- USB Cloning (USBクローニング) メニュー 16

Send to USB (USBにエクスポート)

Receive from USB (USBからインポート)

Logo Image Download

(ロゴイメージのダウンロード)

- Password Change (パスワード変更) メニュー 16

- Tile Mode (タイルモード) メニュー 17

Row (行) (1~15)

Column (列) (1~15)

Tile ID (タイルID) (1~225)

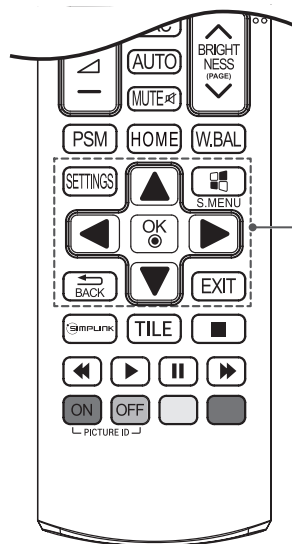
Natural (ナチュラル)

Reset (リセット)

- Fail Over (フェイルオーバー) メニュー19	- Server (サーバー) メニュー23
Off (オフ)	Auto setting (自動設定)
Auto (自動)	Server IP (サーバーIP)
Manual (マニュアル)	Server Status (サーバーのステータス)
- ISM Method (ISMモード)20	Link Server IP (リンクサーバーIP)
Mode (モード)	Link Server Port (リンクサーバーポート)
Repeat (繰り返し)	Link Server Status (リンクサーバーステータス)
Wait (待機時間)	- Lock Mode (ロック モード) メニュー24
Duration (再生時間)	USB
Action Cycle (アクションサイクル)	OSD
Bar Image (バーの画像)	Reset to Initial Settings (初期設定にリセット)
Bar Color (バーの色)	WiFi
Transparency (透明度)	
Direction (方向)	
Bar Image Download (バーの画像をダウンロード)	
User Image Download (ユーザー画像のダウンロード)	
User Video Download (ユーザー動画のダウンロード)	
*ダウンロードされたバーの画像/ユーザー画像/ユーザー動画のリセットまたは削除方法	

インストールメニューを開く

- 1 **SETTINGS (設定)** ボタンを 5 秒間押し続けます。



SETTINGS : メインメニューへのアクセス、入力の保存、メニューの終了に使用します。
 S.MENU : SuperSignメニューキー (モデルによっては、この機能がサポートされていない場合があります。)
 ナビゲーションボタン: メニューやオプションをスクロールします。
 OK : メニューやオプションを選択し、入力を確定します。
 BACK : ユーザーインタラクション機能で1つ前のステップに戻ります。
 Exit : すべてのOSDタスクとアプリケーションを終了します。

- 2 トースト画面 (選択されている入力信号名表示) が表示されたら、トースト画面が表示されている間に [0] [0] [0] [0] (0 を4回) 押した後 [OK] ボタンを押します。
- 入力が終わる前にトースト画面が消えてしまったら最初からやり直して下さい。
 - 0000 はパスワードの初期値です。パスワードを変更した際には変更したパスワード (4桁数字) に置き換えて入力して下さい。



- 3 [Installation Menu (インストールメニュー)] が表示されたら、目的のオプションを選択します。

- Signage Setup (サイネージセットアップ)
- USB Cloning (USB クローニング)
- Password Change (パスワード変更)
- Tile Mode (タイルモード)
- Fail Over (フェイルオーバー)
- ISM Method (ISM モード)
- Server (サーバー)
- Lock Mode (ロックモード)



ヒント

- マニュアル内のイラストと実際の製品は異なることがあります。

インストールメニュー



ヒント

- モデルによっては、設置マニュアルに記載されている機能をサポートしていない場合があります。

Signage Setup（サイネージセットアップ）メニュー

このメニューは、インストール後のデジタルサイネージの設定に使用します。

Power On Status（電源オンステータス）

- 主電源をオンにするときの、モニターの動作ステータスを選択できます。
- [PWR]、[STD]、[LST]の中から選択できます。
- [PWR]を選択すると、主電源をオンにするときのモニターのステータスは常にオンになります。
- [STD]を選択すると、主電源をオンにするときのモニターのステータスはスタンバイになります。
- [LST]を選択すると、モニターのステータスは前回と同じステータスになります。

IR Operation（IR の操作）

- [IR Operation（IR の操作）]を [Normal（標準）]に設定すると、リモコンを使用できます。
- [IR Operation（IR の操作）]を [Power Key Only（電源キーのみ）]に設定すると、電源キーのみ使用できます。
- [IR Operation（IR の操作）]を [Block All（すべてブロック）]に設定すると、リモコンが使用できなくなります。（電源のオン/オフは使用できます。）

Local Key Operation（ローカルキーの操作）

- [Local Key Operation（ローカルキーの操作）]を [Normal（標準）]に設定すると、ローカルキーを使用できます。
- [Local Key Operation（ローカルキーの操作）]を [Power Key Only（電源キーのみ）]に設定すると、電源キーのみ使用できます。
- [Local Key Operation（ローカルキーの操作）]を [Block All（すべてブロック）]に設定すると、ローカルキーが使用できなくなります。（電源のオン/オフは使用できます。）

Wake On LAN

- Wake On LAN 機能のオン/オフを設定できます。
- [On（オン）]または [Off（オフ）]に設定できます。
- 設定を [On（オン）]にすると Wake On LAN 機能が有効になり、LAN 経由でリモート操作できるようになります。
- 設定を [Off（オフ）]にすると Wake On LAN 機能は無効になります。

LAN Daisy Chain（LAN デイジーチェーン）

- LAN デイジーチェーンでは、LAN ポートを使用してデイジーチェーンを構築します。こうすることで、モニターセットを 1 つネットワークに接続するだけで、デイジーチェーン内の他のモニターセットもネットワークに接続されます。
- 最初のデイジーチェーン内のセットは、デイジーチェーンで使用されていないポートを使用してネットワークに接続する必要があります。

No Signal Power Off (15 Min) (信号がないと電源オフ (15 分後))

- [15 Min Force Off (15 分後強制オフ)] 機能のオン／オフを選択できます。
- [On (オン)] または [Off(オフ)] に設定できます。
- 設定を [On(オン)] にすると、接続機器からの信号がない状態が 15 分間続くと、電源がオフになります。
- 設定を [Off(オフ)] にすると、[15 Min Force Off (15 分後強制オフ)] 機能は無効になります。
- 製品を長時間使用する場合は、このオプションを [Off (オフ)] に設定してください。

Auto Power Off (自動電源オフ)

- [4 Hours Off (4 時間後オフ)] 機能のオン／オフを選択できます。
- [4 Hours(4 時間)] または [Off(オフ)] に設定できます。
- 設定を [4 Hours(4 時間)] にすると、4 時間リモコンや、本体のボタンを操作しなかったときに、電源がオフになります。
- 設定を [Off(オフ)] にすると、[4 Hours Off (4 時間後オフ)] 機能は無効になります。
- 長時間、映像を表示する場合は、設定を [Off(オフ)] にしてください。

Beacon (ビーコン)

- Bluetooth バージョン 4.0 の機能の 1 つである BLE ビーコンを有効にします。
- [Beacon Mode (ビーコンモード)] (オン / オフ切替) : ビーコン機能を有効にします。
- [Beacon UUID (hex) (ビーコン UUID (16 進数))] :
ビーコンで使用されるユニバーサルで一意的 ID (UUID) を設定します。UUID は、0 ~ 255 の範囲の 10 進数から変換された、32 桁の 16 進数 (0-FF) から成っています。
- [Major (0-65535) (メジャー (0-65535))] : UUID と一致するメインカテゴリ値を設定します。
- [Minor (0-65535) (マイナー (0-65535))] : メジャー値と一致するサブカテゴリ値を設定します。
- [OK] : 上記の 4 つの値が設定された後、これを確定します。
- モデルによっては、iOS でバックグラウンドスキャンサービスをサポートしていないものもあります。

DPM

- DPM (ディスプレイ電源管理) 機能を設定できます。
- Off (オフ) : [Off (オフ)]、[5 sec. (5 秒後)]、[10 sec. (10 秒後)]、[15 sec. (15 秒後)]、[1 min. (1 分後)]、[3 min. (3 分後)]、[5 min. (5 分後)]、または [10 min. (10 分後)] に設定できます。
- [Off(オフ)] 以外が設定されている場合、入力信号がないとモニターセットは DPM モードに入ります。
- 設定を [Off(オフ)] にすると、DPM 機能は無効になります。
- 以下の場合、DPM の 5 sec. (5 秒後) と 10 sec. (10 秒後) のオプションは無効になります。DPM がすでに 5 sec. (5 秒後)、または 10 sec. (10 秒後) に設定されている場合は、15 sec. (15 秒後) に変更されます。
- - [USB Auto Playback (USB 自動再生)] が [Photo (写真)] または [Movie (動画)] に設定されている場合
- - [Fail Over (フェイルオーバー)] が [Auto (自動)] または [Manual (手動)] に設定されている場合
- 10 sec. (10 秒後) 以下に設定すると、モニターが DPM モードに移動した後、SuperSign コンテンツが自動再生されます。

DPM Wakeup Control (DPM ウェイクアップ制御)

- 接続された DVI/HDMI ポートのデジタル信号処理に従って、モニターセットをオンにします。
- このオプションを [Clock (クロック)] に設定すると、デジタルクロックからの信号のみが確認されます。クロック信号がある場合、モニターセットがオンになります。
- このオプションを [Clock+DATA (クロック + データ)] に設定すると、デジタルクロック信号とデータ信号の両方が入力されている場合のみ、モニターセットがオンになります。

Baudrate (ボーレート) (9600/115200)

- RS-232 の通信速度を変更して、モニターを制御できます。
- [9600] または [115200] を選択できます。
- 設定を [9600] にすると、RS-232 の通信速度は 9600 bps に設定されます。
- 設定を [115200] にすると、RS-232 の通信速度は 115200 bps に設定されます。

OSD Portrait Mode (OSD ポートレートモード) (On (オン)、Off (オフ))

- この機能では、OSD を時計回りに回転できます。
- この機能は、[Off (オフ)]、[90]、または [270] に設定できます。
- [Off (オフ)] に設定すると、この機能は無効になります。
- [90] に設定すると、OSD は時計回りに 90 度回転します。この場合、マウスは使用できません。
- [270] に設定すると、OSD は時計回りに 270 度回転します。この場合、マウスは使用できません。
- モデルによっては、この機能を [Off (オフ)]/[On (オン)] にできるものもあります。[オン] にすると、OSD は時計回りに 90 度回転します。
- 一部のモデルでは、設定の変更を適応するために再起動する必要があります。

Power On Delay (パワーオン遅延) (0 ~ 250)

- この機能は、複数のモニターセットの電源が同時にオンになるときの過負荷状態を防ぐために、電源をオンにするタイミングを遅らせます。
- 遅延の間隔を 0 秒 ~ 250 秒の範囲で設定できます。

Check Screen (画面の確認)

- [Check Screen (画面の確認)] 機能は、画面の端に異常がないかどうかを判断します。1 秒間隔で画面に R、G、B OSD を表示し、RGB センサーがそのエリアをテストします。
- [On (オン)] に設定すると、[Check Screen (画面の確認)] 機能は有効になります。
- [Off (オフ)] に設定すると、[Check Screen (画面の確認)] 機能は無効になります。
- [Portrait mode (ポートレートモード)] または [Pivot mode (ピボットモード)] を [オン] にすると、[画面の確認] が [Off (オフ)] になり、無効となります。

Digital Audio Input (デジタルオーディオ入力)

- HDMI/DISPLAYPORT/OPS : HDMI、DisplayPort、OPS に伝送されるデジタル信号の音声データは、モニターのスピーカーから出力することが出来ます。
- Audio In (オーディオ入力) : HDMI ポートまたは DisplayPort ポートをオーディオ入力ポートに接続して、モニタースピーカーから音声を出力することができます。
- OPS/HDMI3/DVI-D または OPS/DVI-D 接続の映像を出力しているときに、[デジタル] が選択されている場合、音声は出力されません。
- 内蔵スピーカーを搭載していないモデルは、外部スピーカーの接続が必要になります。

Speaker (スピーカー)

- 設定を [On(オン)] にすると、モニターのスピーカーがオンになり音声出力が可能になります。
(* スピーカーは別売です)。
- 設定を [Off(オフ)] にすると、モニターのスピーカーがオフになります。

USB Auto Playback (USB 自動再生)

- USB デバイスが接続されると写真やビデオを自動再生する機能です。[View Photos/Movies (写真 / ムービーの表示)] メニューを手動で選択しなくても、写真やビデオが自動的に再生されます。ただし、この機能は SuperSign のコンテンツ再生中は使用できません。
- ムービーに [USB Auto Playback (USB 自動再生)] を選択すると、USB デバイスの最上位のフォルダにあるビデオファイルが自動的に順番に再生されます。電源をオンにすると、USB のビデオファイルを自動的に検索して再生します。
- 写真に [USB Auto Playback (USB 自動再生)] を選択すると、USB デバイスの最上位フォルダにあるビデオファイルが自動的に順番に再生されます。電源をオンにすると、USB の写真を自動的に検索して再生します。

Set ID (セット ID)

- Set ID (1 ~ 1000) (セット ID): 複数のモニターを接続する場合、モニターごとにセット ID 番号を割り当てるができます。1 ~ 1000 の範囲の番号を割り当てて、メニューを終了します。製品ごとに割り当てたセット ID を使用して、各製品を個別に制御できます。
- [Auto Set ID (セット ID の自動設定)] : 複数の製品が表示用に接続されている場合は、各セットに一意のセット ID が自動的に割り当てられます。
- Reset Set ID (セット ID のリセット): セット ID をリセットします。リセットされた場合、セット ID は「1」に設定されます。

PM Mode (PM モード)

- [Power Off (電源オフ)] : 通常の DC オフの状態。
- [Sustain Aspect Ratio (画面サイズを保持)] : 通常の DC オフで、切り替え IC のみオンの状態。モデルによっては、特定の入力モード (DisplayPort) のみ該当し、他の入力モードでは [常に映像オフ] と同じ効果があります。
- [Screen Off (映像オフ)] : DPM モード、オートオフ (15 分、4 時間)、異常シャットダウンの場合は、自動的に画面オフの状態になります。
- [Screen Off Always (常に映像オフ)] : DPM モード、オートオフ (15 分、4 時間)、オフタイマー、異常シャットダウン、またはリモートコントロールの電源ボタンかモニターオフボタンの入力があった場合は、自動的に画面オフの状態になります。
- 画面をオフからオンに変更するには、リモートコントロールの電源ボタンか入力ボタン、またはモニターオンボタンからの入力が必要です。

Interface Selection (インタフェースの選択)

- 接続している OPS で通信を設定できます。
- DISPLAY (ディスプレイ) : シリアルポートを使用して外部デバイスでの通信を有効にします。
- OPS : 製品に接続している OPS を使用して通信を有効にします。

OPS Power Control（OPS 電力制御）、OPS/PC Power Control（OPS/PC 電力制御）

- OPS の電源を制御できます。
- Disable（無効）：OPS Power Control（OPS 電力制御）を無効にします。
- Sync (on)（同期（オン））：モニターがオンの場合にのみモニターと OPS の電源ステータスを同期します。
- Sync (on/off)（同期（オン/オフ））：常にモニターと OPS の電源ステータスを同期します。

Master/Slave Mode（マスター / スレーブモード）

- Master/Slave Mode（マスター / スレーブモード）：製品を既に接続されている製品の時刻とコンテンツに同期させます。これらのモニターは [Master（マスター）]、[Slave（スレーブ）] のいずれかに設定できます。RS-232C によって複数のモニターが接続されている場合は、この機能が正常に動作するよう、いずれか 1 つのモニターを [Master mode（マスターモード）] に設定する必要があります。
- Time Sync（時刻の同期）：時刻の同期をオンに設定するには、RS-232C によって接続された複数のモニターに、マスターモニターの現在の時刻を送信して時間を同期させます。時刻の同期がオンに設定されると、モニターの時刻は初回同期後 1 時間ごとに同期されます。（何か変更が生じた場合は、改めて初回同期が実施され、その後 1 時間ごとの同期が続行されます。）
- Contents Sync（コンテンツの同期）：コンテンツの同期をオンに設定するには、RS-232C によって接続された複数のモニターに、マスターモニターのコンテンツを送信してコンテンツを同期させます。この機能が正常に動作するよう、すべてのモニターは単一のビデオまたは画像で、コンテンツの同期設定をオンにする必要があります。この機能はコンテンツタイプのみをサポートしています。スケジュールタイプはサポートされていません。

Sync Mode（同期モード）

- 他の LG サイネージ製品と時刻を同期させます。
- Off（オフ）：同期は無効になります。
- RS232C：RS-232C 経由で接続した複数のモニターを同期します。
 - Master/Slave（マスター / スレーブ）：これらのモニターは [Master（マスター）]、[Slave（スレーブ）] のいずれかに設定できます。この機能が正常に動作するよう、いずれか 1 つのモニターを [Master（マスター）] モードに設定する必要があります。
 - Time Sync（時刻の同期）：[Time Sync（時刻の同期）] が [On（オン）] に設定されているときは、RS-232C 経由で接続された複数の Slave（スレーブ）モニターに、Master（マスター）モニターの現在の時刻を送信して時間を同期させます。[Time Sync（時刻の同期）] が [On（オン）] に設定すると、モニターの時刻は初回同期後 1 時間ごとに同期されます（設定を変更した場合は、改めて初回同期が実行され、その後 1 時間ごとの同期が続行されます）。
 - Contents Sync（コンテンツの同期）：[Contents Sync（コンテンツの同期）] が [On（オン）] に設定されているときは、Master（マスター）モニターの Contents（コンテンツ）を、RS-232C 経由で接続された複数の Slave（スレーブ）モニターに送信して Contents（コンテンツ）を同期させます。この機能はモニターの [Contents Sync（コンテンツの同期）] が [On（オン）] に設定されている場合にのみ使用可能で、Contents（コンテンツ）内の単一の動画または画像とともに正常に動作します。
- Network（ネットワーク）：同一ネットワークに接続されているモニターを同期します。
[SYNC NOW] ボタン権限のあるモニターが Master（マスター）になります。
 - How many connected screens（接続画面数）：Slaves（スレーブ）の数を入力します。1 ～ 225 の数を入力でき、デフォルト値は 1 です。
 - Select storage device（記憶装置の選択）：Internal Memory（内蔵メモリー）または USB デバイスを選択できます。
 - Select the file name（ファイル名の選択）：選択したデバイスのファイルリストから最大 10 ファイルを選択できます。ファイルを選択すると上部にある [SYNC NOW] ボタンが有効になり、次のステップへ進めます。
 - サポートされているのは MP4 ファイルのみで、ファイルはすべてデバイスのルートディレクトリにある [SyncPlay（同期再生）] フォルダに格納されている必要があります。
 - プロキシサーバー設定を [Off（オフ）] にしてから、[Network Sync（ネットワークシンク）] を使用してください。

- UPnP：UPnP で使用される UDP ポート 1900 を開くかブロックします。
 - デフォルトは [オン] です。これを [オフ] に設定すると、UDP ポート 1900 がブロックされ、UPnP 機能を使用できなくなります。
 - これを [オフ] に設定すると、同期モードの [ネットワーク] アイテムが非アクティブになります。
 - これを [オフ] に設定し、同期モードが [ネットワーク] に設定されている場合、同期モードは、[オフ] に切り替えられ、[ネットワーク] アイテムが非アクティブになります。
 - UPnP の値が変更された場合、再起動しないと機能は適用されません。

Content Rotation (コンテンツの回転)

- 画像を時計回りに 90 度または 270 度回転させます。
- ポートレートモード用に作成されたコンテンツの使用をお勧めします。
- ARC の場合、[コンテンツの回転] を [On (オン)] (90 度または 270 度) に設定すると、動画のサイズがフルスクリーンになります。
- [コンテンツの回転] を使用したい場合は、WiDi で [アスペクト比] を [オリジナル] に設定することをお勧めします。[アスペクト比] を [フル] にすると、マウスポインターの表示位置が不正確になる場合があります。
- 外部入力を使用して [コンテンツの回転] を設定した際の画質の低下は製品に起因するものではありません。接続デバイスの設定を確認してください。

Aspect Ratio (Rotation) (画面サイズ (回転))

- コンテンツの回転時に適用する画面サイズのオプションを選択します。(オリジナル / フル)

Intelligent Auto (インテリジェントオート)

- 認識した解像度により、モニター画面のサイズ、位置、フェーズを自動的に調整します。この機能は、RGB 入力モードでのみ使用できます。

Studio Mode (スタジオモード)

- 低い色温度で画像を出力します。
- この機能は、[On (オン)] または [Off (オフ)] に設定できます。
- [On (オン)] にすると、画像の色温度が低下します。

Pivot Mode (ピボットモード)

- 画面を 180 度回転できます。
- 入力信号と OSD の両方が回転します。
- この機能は、[On (オン)] または [Off (オフ)] に設定できます。
- [Off (オフ)] に設定すると、この機能は無効になります。
- [On (オン)] に設定すると、画面は 180 度回転します。
- 変更した場合、再起動後に変更が適用されます。

Scan Inversion (スキャン反転)

- 画像の高速出力中に上下端が互いに隣接する、画像のレベル差を縮小できます。
- この機能は、[On (オン)] または [Off (オフ)] に設定できます。
- [On (オン)] にすると、画像が下端から上端へとスキャンされ、レベル差が最小化されます。画像は縦 / 横に反転します。
- [スキャン (反転)] は、ピボットモードで使用することをお勧めします。

White Balance (ホワイトバランス)

- R-ゲイン、G-ゲイン、B-ゲイン、バックライトの値を調整します。
- [リセット]：ホワイトバランスの値をリセットします。

Application (アプリケーション)

- ランチャーバーにアプリケーションを追加 / 削除します。
- Screen Share 項目のチェックを外してホームランチャーから Screen Share アプリを削除する場合は、削除後にシステムを再起動することをお勧めします。
- [コンテンツの回転] または OSD ポートレートモードがオンに設定されている場合、SuperSign EZ アプリはランチャーから削除され、SuperSign EZ のアイテムは無効になります。

Crestron (クレストロン)

- この機能を使用すると、Crestron が提供するアプリケーションと同期することができます。
- [Server (サーバー)]：このメニューは、サーバー (Crestron が提供する機器) とのネットワーク接続を設定します。
- [Port (ポート)]：このメニューは、サーバーとのネットワーク接続用のポートを設定します。デフォルトのポート番号は 41794 です。
- [IP ID]：このメニューは、アプリケーションとの同期用の固有の ID を設定します。

Factory Reset (工場出荷状態へリセット)

- 製品を工場出荷時の設定にリセットできます。

Status Message（ステータスメッセージ）

- Signage のステータスをユーザーの電子メールアドレスに送信する機能を設定します。
- 管理者は、ステータスメッセージを [オン] または [オフ] に設定できます。
- [Messaging Period（メッセージ送信間隔）]：メッセージを送信する際の時間間隔を設定します。[失敗ステータス時]、または [毎週] のどちらかを選択できます。
- [曜日選択]：[メッセージ送信間隔] を [毎週] に設定した場合に有効となります。メッセージを送信する曜日を選択します。
- 時間選択：[メッセージ送信間隔] を [毎週] に設定した場合に有効となります。メッセージを送信する時刻を選択します。
- [User E-mail Address（ユーザーの電子メールアドレス）]：送信者の電子メールアドレスを入力します。
- [Type（タイプ）]：POP3 に固定。
- [Sending Server（SMTP）（送信元サーバー（SMTP））]：POP3 のメールサーバーのアドレスを入力します。
- [ID]：メールサーバーのユーザー ID を入力します。
- [Password（パスワード）]：メールサーバーのユーザーパスワードを入力します。
- [Receive E-Mail Address（送信先メールアドレス）]：ステータスメッセージの受信者の電子メールアドレスを入力します。
- 以下の項目のステータスが変更されたか異常になった場合、ステータスメッセージを送信できます。
 - 1. 温度：モニターセットが危険な温度に達した場合はその温度が記録され、この情報を含む電子メールが送信されます。
 - 2. 温度センサーの有効性：接続された温度センサーがない場合、温度センサーの通信ステータスが不明な場合、あるいはチップのプロバイダーが提供した情報に異常がある場合に電子メールが送信されます。
 - 3. ネットワークステータス（無線 / 有線）：ネットワークの接続状態が変化すると、電子メールが送信されます。ネットワークステータスの変更データは、最大で 50 回保存できます。電源をオフにすると、保存された値はリセットされます。
 - 4. RGB センサー：RGB センサーによる画面の確認が失敗すると、電子メールが送信されます。
 - 5. 信号確認なし：信号の有無を確認します。10 秒が経過しても信号が確認されない場合、電子メールが送信されます。
 - 6. ローカルコンテンツスケジューラ：Signage に登録された再生スケジュールの開始時刻と終了時刻の間のコンテンツを開始できなくなった場合、電子メールが送信されます。ただし、リモコンで終了操作が行われた場合、メールは送信されません。
 - 7. SuperSign スケジューラ：SuperSign に配信された再生スケジュールの開始時刻と終了時刻の間のコンテンツを開始できなくなった場合、電子メールが送信されます。ただし、リモコンで終了操作が行われた場合、メールは送信されません。
 - モデルによっては、上記の機能をサポートしていない場合があります。
- SMTP Port 25、587 のみがサポートされている場合、Naver はサポートされません。

SIMPLINK Setup (SIMPLINK 設定)

- [SIMPLINK Setup (SIMPLINK 設定)] が [On (する)] に設定されている場合、SIMPLINK は LG Signage から提供されます。
- [Device ID (デバイス ID)] : CEC 配線を經由して接続されたデバイスに ID を設定します。値は「All (すべて)」から「E」の範囲で選択できます。
- [StandBy (スタンバイ)] : OpStandBy (0x0c) コマンドを送受信するためのシナリオを設定します。シナリオの詳細は以下のとおりです。

	Send (送信)	Receive (受信)
Send Only (送信のみ)	O	X
Receive Only (受信のみ)	X	O
All (すべて)	O	O

Multi-screen Resolution (マルチスクリーンの解像度)

- この機能を使用すると、マルチ画面で選択中の Screen split mode に応じて接続デバイスの推奨解像度を変更することができます。推奨解像度を自動的に変更する、または特定の Screen split mode に対応した推奨解像度へ修正するように設定できます。設定を変更する際に、画面がちらつく場合があります。
- Fit to Screen (画面サイズの調整) : 接続デバイスの推奨解像度が、マルチ画面で選択中の Screen split mode の最適解像度に自動変更されます。選択している解像度が接続デバイスの推奨解像度とは異なる場合、Screen split mode を変更しても選択中の解像度は固定されたまま変更されません。
- HDTV 信号出力、PC 信号出力に対応する一部のグラフィックカードでは、HDTV 出力解像度は 1080p 以下に調整されます。PC 出力解像度は 2 画面、3 画面、4 画面に応じて自動的に調整されます。
- グラフィックカードとオペレーティングシステムによっては、スプリットモードごとに推奨解像度を設定する必要があります。
- One Screen (1 画面) : 接続デバイスの推奨解像度が、1 画面の最適解像度に設定されます。マルチ画面を使用する際に、画面が正常に動作しない場合があります。マルチ画面環境でデバイスを使用するには、選択したモードに応じて設定を変更する必要があります。マルチスクリーンアプリを実行するには、接続デバイスの解像度をマルチスクリーンモードでサポートされる解像度以下に設定する必要があります。
- Two Screens (2 画面) : 接続デバイスの推奨解像度が、マルチ画面で選択中の 2 画面用 Screen split mode の最適解像度に自動変更されます。
- Three Screens (3 画面) : 接続デバイスの推奨解像度が、マルチ画面で選択中の 3 画面用 Screen split mode の最適解像度に自動変更されます。
- Four Screens (4 画面) : 接続デバイスの推奨解像度が、マルチ画面で選択中の 4 画面用 Screen split mode の最適解像度に自動変更されます。

コンテンツの回転 / ピボットモード / スキャン反転の使用方法

ピボットモードとスキャン反転の両方を有効にした場合、モニターがオンになると表示されるロゴ画面が縦 / 横に反転します。

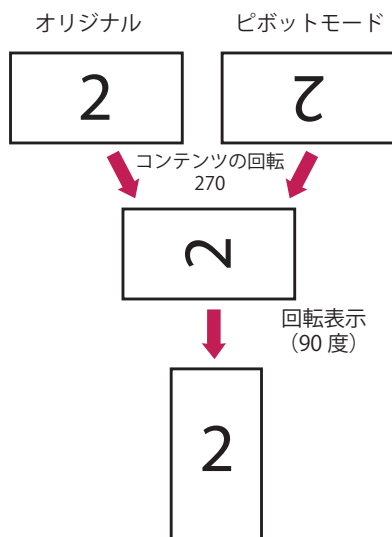
[縦置き設定]

オリジナルの画像またはピボットモードで、[コンテンツの回転] を使用して画像を縦置き画像に変換できます。

90 度回転した画像を表示する場合、[コンテンツの回転] を 270 に設定します。

270 度回転した画像を表示する場合、[コンテンツの回転] を 90 に設定します。

例) 90 度回転した画像を表示する場合：



[ビデオウォール設定]

ピボットモード、スキャン反転、コンテンツの回転を使用して、動画を横置き / 縦置きに表示できます。

例：タイルモード 2x2

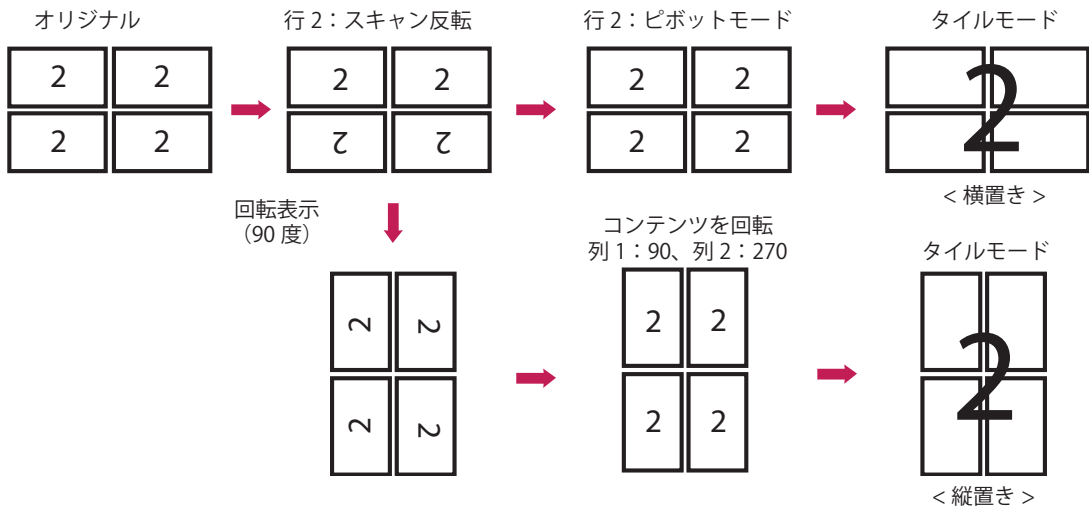
* 横置きビデオウォール

- 行 2 を表示するには、スキャン反転とピボットモードを [オン] にします。

* 縦置きビデオウォール

- 列 1 を表示するには、スキャン反転を [オン] にして、コンテンツの回転を 90 に設定します。

- 列 2 を表示するには、コンテンツの回転を 270 に設定します。



USB Cloning (USB クローニング) メニュー

モニターの設定を他のモニターの設定にコピーできます。

Send to USB (USB にエクスポート)

- 現在の設定をファイル形式で USB デバイスに保存できます。
- ファイル名を選択して [OK] を押せば完了です。
- [HDMI ULTRA HD Deep Color (HDMI 4K ディープカラー)], [Picture (画像)], [Clock (時計)], [Power On Delay], Set ID の [Advanced settings (詳細設定)], [Network (ネットワーク)], [White Balance], Tile ID の項目、[サイネージ設定メニュー] の [Master/Slave], [Timer sync], [ISM method] の全メニュー (mode、repeat、wait、duration を除く)、および [My Media (マイメディア)] のメニュー項目の設定項目はエクスポートできません。

Receive from USB (USB からインポート)

- USB デバイスから構成ファイルをインポートして、現在使用しているモニターの設定値を変更することができます。
- この製品と異なるモデルの設定ファイルを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- インポートが完了すると、5 秒後に電源が再起動します。

Logo Image Download (ロゴイメージのダウンロード)

- ブートイメージをダウンロードして適用することができます。
- 適用するイメージは、USB デバイスの最上位レベルの「LG_MONITOR」フォルダに保存されている必要があります。
- ダウンロードが完了するとモニターが再起動し、ブートイメージが適用されます。



注意

- クローニング機能を使用する場合は、FAT32 ファイルシステムを使用してフォーマットされた USB ストレージデバイスを使用してください。他のファイルシステムでフォーマットされている場合、正常に作動しない場合があります。

Password Change (パスワード変更) メニュー

[Installation menu (インストールメニュー)] で、パスワードを変更できます。セキュリティのため、パスワードを変更することができます。新しい 4 桁のパスワードを入力します。確認のため、[Confirm Password (パスワードの確認)] に同じパスワードをもう一度入力します。

Tile Mode (タイルモード) メニュー

画面ごとの設定と同じ方法で、統合画面を設定することができます。

この機能は、

- 複数のディスプレイ機器と合わせての使用中に動作します。
- 配電盤または DisplayPort デイジーチェーンにより各ディスプレイに接続して作動させる必要があります。
- タイルモード：行 x 列（行=1～15、列= 1～15）
- 15x15 まで使用できます。

Row (行) (1～15)

- タイルの行の数を設定します。

Column (列) (1～15)

- タイルの列の数を設定します。

Tile ID (タイル ID) (1～225)

- タイルの ID を設定します。
- 選択した ID が画面に表示されます。

Natural (ナチュラル)

- より自然なディスプレイになるように、画面間の距離に合わせて映像の一部が省かれます。

Reset (リセット)

- [Tile Mode (タイルモード)] の設定をリセットします。
- タイルがリセットされると、タイル設定は 2 x 2 にリセットされます。



ヒント

- タイルモードが有効な場合は、スマートエネルギーセービングおよび Energy Saving (省エネモード) の [AUTO] オプションが無効となり、他のディスプレイと同等の画質で表示されます。
- モデルによっては、4 x 4 のみ使用可能です。（1080 p 以上の場合）

タイルモード

本機と合わせて複数のディスプレイ機器をタイルのように並べて配置することで、さらに大きなサイズのタイルディスプレイを表示できます。

オフ

[タイルモード] 機能を利用しない

1X2

2台のモニターを使用する場合



タイルID

2X2

4台のモニターを使用する場合



3X3

9台のモニターを使用する場合



4X4

16台のモニターを使用する場合



4X4

16台のモニターを使用する場合



タイルモード - ナチュラル

通常は、各ディスプレイ機器のフレームに隠れて表示されない部分がないよう、本来の映像をそれぞれのフレームから少しずつ切り離して表示します。この設定が有効な場合、フレームに合わせて映像を切り離すことなく、隠れる部分はそのまま非表示にし、より自然な映像を表示します。

適用前



適用後



Fail Over（フェイルオーバー）メニュー

優先順位の最も高い入力元が選択されます。

Off（オフ）

- 自動フェイルオーバー機能が無効になります。

Auto（自動）

- 入力元が指定した順序に変更されます。複数の入力元が検出された場合、優先順位の最も高い入力元が選択されます。
- 優先順位
例 1) 1. HDMI、2. DVI-D、3. DisplayPort、4. OPS、5. RGB、6. 内蔵メモリー
例 2) 1. HDMI1、2. HDMI2、3. OPS/HDMI3/DVI-D または OPS/DVI-D、4. DP、5. 内蔵メモリー

Manual（マニュアル）

- 入力元が指定した順序に変更されます。複数の入力元が検出された場合、優先順位の最も高い入力元が選択されます。
- 優先順位 1 ～ 6 まで設定できます。

ヒント

- Fail Over（フェイルオーバー）により入力が内蔵メモリー、USB、または SD カードに切り替わると、記憶装置内のコンテンツ、動画、画像が再生されます。
- 記憶装置のルートディレクトリにある [fail_over (FAIL_OVER)（フェイルオーバー）] フォルダ内にコンテンツ（cts または cpls）がある場合は、そのコンテンツが最初に再生されます。
- コンテンツがない場合は、記憶装置のルートディレクトリに保存されている動画または画像が再生されます。
- 同じフォルダーにビデオファイルと画像ファイルの両方がある場合、ビデオファイルのみが再生されます。
- SuperSign で配信されたコンテンツは、内部メモリの「normal」という名前のフォルダに保存されます。そのため、SuperSign で配信されたコンテンツは、[Fail Over（フェイルオーバー）] によって自動的に再生されることはありません。
- 優先順位数はモデルによって異なります。

ISM Method (ISM モード)

静止画が画面に長時間表示されていると、残像が発生することがあります。ISM モードは、残像を防止する機能です。

Mode (モード)

- お好みの残像防止モードを選択します。
- [ノーマル]: ISM モードを無効にします。
- [ホワイトウォッシュ]: 残像をなくすためにホワイトパターンを表示します。
- [カラーウォッシュ]: 残像をなくすためにホワイトパターンとカラーパターンを交互に表示します。
- [User Image (ユーザー画像)]: 希望の写真を再生します。
- [User Video (ユーザー動画)]: 視聴したい動画を再生します。
- [Inversion (反転)]: 残像をなくすために画面の色を反転します。(現在の入力元が信号なしになると、このオプションは無効になります)。
- [Orbiter (移動)]: 残像をなくすために、画面上で画像の位置を、特定の順序で一度に 3 ピクセル数ずつ移動します。(現在の入力元が信号なしになると、このオプションは無効になります)。
- [Washing Bar (ウォッシングバー)]: 画像が円滑に動くように、画面上にバーを表示します。対象の画像をダウンロードし、これをバーで表示できます。

Repeat (繰り返し)

- [Off, just 1 time (オフ、一度のみ)]: 対象のモードを選択して[完了]を押すと、ISM が即座に実行します。
- [On (オン)]: 画面が一定の待機時間で静止すると、指定した期間のみ ISM が実行されます。

Wait (待機時間)

- 1 ~ 24 時間の範囲で待機時間を設定できます。
- このオプションは、[Repeat (繰り返し)] を [On (オン)] に設定した場合のみ使用できます。
- 画像が一定期間静止すると、ISM が始動します。

Duration (再生時間)

- 1 ~ 10 分 / 20 分 / 30 分 / 60 分 / 90 分 / 120 分 / 180 分 / 240 分から選択できます。
- このオプションは、[Repeat (繰り返し)] を [On (オン)] に設定した場合のみ使用できます。
- 指定した期間のみ ISM が実行されます。

Action Cycle (アクションサイクル)

- 1 ~ 10 分 / 20 分 / 30 分 / 60 分 / 90 分 / 120 分 / 180 分 / 240 分から選択できます。
- このオプションは、[Inversion (反転)] または [Orbiter (移動)] に設定した場合のみ使用できます。
- [Orbiter (移動)]: 指定した周期で画面の位置を移動します。
- [Inversion (反転)]: 指定した周期で画面の色を反転します。

Bar Image (バーの画像)

- [Off (オフ)] : 固定された解像度 (300 x 1080) でバーを表示して、このバーを移動します。
- [On (オン)] : ユーザーがダウンロードした画像を表示して移動します。画像の高さは 1080 で固定され、幅はダウンロード時と同じ値になります。ただし、幅が 300 未満の場合は 300 に固定されます。
- このオプションは、[Washing Bar (ウォッシングバー)] を設定した場合のみ使用できます。
- 1つの画像をダウンロードした場合、バーが移動してこの画像が単独で表示されます。
- 複数の画像をダウンロードした場合、最大で 4 つの画像が一定周期で順番に表示されます。

Bar Color (バーの色)

- 赤、緑、青、白、黒、グレーの 6 色から選択できます。
- この機能は、[Bar Image (バーの画像)] が [Off (オフ)] に設定されている場合にのみ使用できます。
- このオプションは、[Washing Bar (ウォッシングバー)] を設定した場合のみ使用できます。

Transparency (透明度)

- [Off (オフ)] : バーを不透明にして表示します。
- [On (オン)] : バーを半透明にして表示します。(透明度 : 50 %)
- このオプションは、[Washing Bar (ウォッシングバー)] を設定した場合のみ使用できます。

Direction (方向)

- [Left -> Right (左 -> 右)] : バーが左から右に動きます。
- [Right -> Left (右 -> 左)] : バーが右から左に動きます。
- このオプションは、[Washing Bar (ウォッシングバー)] を設定した場合のみ使用できます。

Bar Image Download (バーの画像をダウンロード)

- 画像ファイルは、お使いの USB ドライブで「ISM」と名付けられたフォルダーの配下にダウンロードする必要があります。
- 新しい画像ファイルをダウンロードする前に、必ず内蔵メモリーに保存されている古い画像を削除してください。
- サポートされているファイルタイプ : BMP、JPG、JPEG、PNG、GIF
- 画像は最大 4 つまでダウンロードできます。(解像度 : 最大 1920 x 1080)
- 画像がないか、既存の画像が削除されている場合、デフォルトの画像が使用されます (デフォルトの画像は白いバーの画像です)。
- このオプションは、[Bar Image (バーの画像)] が [On (オン)] の場合のみ使用できます。

User Image Download（ユーザー画像のダウンロード）

- 画像ファイルは、お使いの USB ドライブで「ISM」と名付けられたフォルダーの配下にダウンロードする必要があります。
- 新しい画像ファイルをダウンロードする前に、必ず内蔵メモリーに保存されている古い画像を削除してください。
- サポートされているファイルタイプ：BMP、JPG、JPEG、PNG、GIF
- 画像は最大 4 つまでダウンロードできます。（解像度：最大 1920 x 1080）
- 画像がないか、既存の画像が削除されている場合、デフォルトの画像が使用されます（デフォルトの画像は白い背景の画像です）。
- このオプションは、[User Image（ユーザー画像）] を設定した場合のみ使用できます。

User Video Download（ユーザー動画のダウンロード）

- 動画ファイルは、お使いの USB ドライブで「ISM」と名付けられたフォルダーの配下にダウンロードする必要があります。
- 新しい動画ファイルをダウンロードする前に、必ず内蔵メモリーに保存されている古いコンテンツを削除してください。
- サポートされているファイルタイプ：MP4、AVI、FLV、MKV、MPEG、TS
- 動画は 1 つまでダウンロードできます。
- 動画がないか、既存の動画が削除されている場合、デフォルトの動画が使用されます。（デフォルトの動画は白い背景の画像です）。
- このオプションは、[User Video（ユーザー動画）] を設定した場合のみ使用できます。

*** ダウンロードされたバーの画像 / ユーザー画像 / ユーザー動画のリセットまたは削除方法**

- リセットするには、[Installation（インストール）] > [Signage Setup（Signage のセットアップ）] > [Factory Reset（工場出荷状態へリセット）] の順に進みます。
- 削除するには、[マイメディアのデバイス] 配下の [内蔵メモリー] に進み、ダウンロードした対象コンテンツを削除します。

Server（サーバー）メニュー

Auto setting（自動設定）

- モニターセットは、SuperSign サーバーから検索できるように自動的に設定されます。

Server IP（サーバー IP）

- SuperSign サーバーの IP アドレスを設定できます。

Server Status（サーバーのステータス）

- [Server Status（サーバーのステータス）] に、モニターと SuperSign サーバー間の接続のステータスが表示されます。
- Not connected（接続されていません）：モニターが SuperSign サーバーに接続されていない状態です。
- Waiting for approval（承認待機中）：モニターが SuperSign サーバーに接続されているが、まだ承認されていない状態です。
- Rejected（承認拒否）：モニターが SuperSign サーバーに接続されているが、拒否された状態です。
- Connected（接続済み）：モニターが SuperSign サーバーに接続され、承認されている状態です。

Link Server IP（リンクサーバー IP）

- このメニューで SuperSign のリンクサーバーの IP アドレスを設定します。

Link Server Port（リンクサーバーポート）

- このメニューで SuperSign のリンクサーバーのポートを設定します。

Link Server Status（リンクサーバーステータス）

- SuperSign のリンクサーバーの接続ステータスを表示します。
- 未接続：SuperSign のリンクサーバーに接続していません。
- 承認待ち：SuperSign のリンクサーバーに接続していますが、未承認です。
- 接続：SuperSign のリンクサーバーに接続しています。

Lock Mode（ロックモード）メニュー

USB

- USB デバイスが使用されないようにできます。

OSD

- OSD を表示しないようにできます。

Reset to Initial Settings（初期設定にリセット）

- 初期設定が使用されないようにできます。

WiFi

- Wi-Fi の設定を制限することができます。

